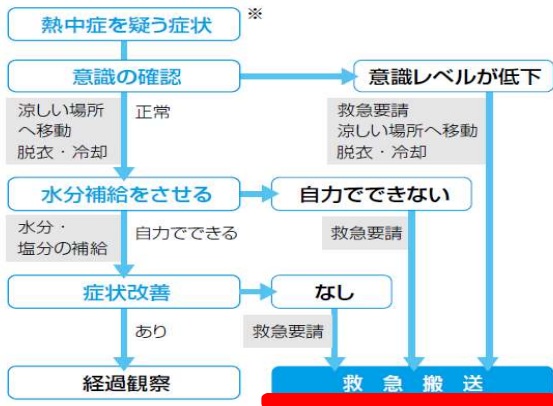


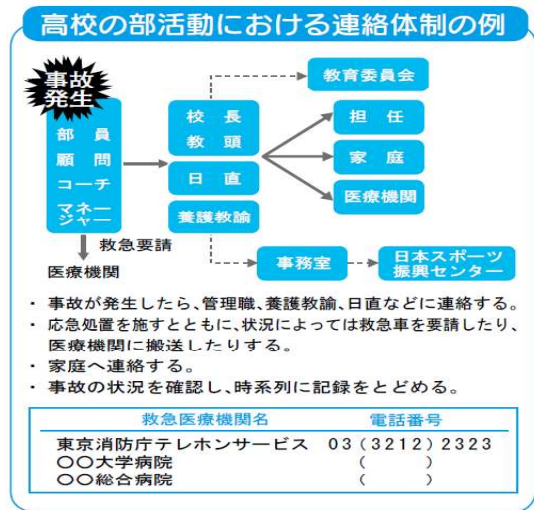
緊急時の対応 学校、道場等における緊急時連絡体制表を事前に作成し、役割を明確にしておきましょう！
救急隊による医療機関への搬送を迅速かつスムーズに行うために、保護者の連絡先、練習生の既往症、血液型等も確認しておきましょう！

図34 熱中症の救急処置



※めまい、失神、筋肉痛、筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛、気分不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温

図38 連絡体制の例



- ・事故が発生したら、管理職、養護教諭、日直などに連絡する。
- ・応急処置を施すとともに、状況によっては救急車を要請したり、医療機関に搬送したりする。
- ・家庭へ連絡する。
- ・事故の状況を確認し、時系列に記録をとどめる。

救急車要請のポイント

- まず落ち着いて119番をかける
- 救急車の構内誘導係を配置する
- 救急車への同乗者は、状況の説明ができる人
- 火事ですか？救急ですか？
⇒救急です
- 住所、番地は？
⇒〇〇区 △丁目△番地です
- あなたの名前は？
⇒〇〇高校の△△です
- 受傷者の年齢と性別は？
⇒高校〇年生の(男・女)です
- どうしましたか？
⇒いつ、どこで、何を、
どうした、どんな状態だ

連絡・通報すべき内容例

- 発生場所
(柔道場など)
- 発生状況
(誰がどうなったかなど)
- 受傷者の状態
(意識、出血、外傷の有無など)

家族への連絡内容例

- 事故の発生状況と容態
- 医療機関名と所在地、電話番号
(医療機関について希望があれば聞く)
- 保険証、医療費及び身の回り品など

「柔道の安全指導」P42、48～49

緊急時連絡体制表(例示)

救急隊要請	
迅速な119番通報	
平日(8:30~17:15)	
担当課・者通報～内線3000	
夜間・休日	
宿直通報～内線1000	
夜間・休日 担任・担当者連絡	
担任・000-1111-2225	
副担任・000-1111-2222	
家族へ連絡	
下記表で確認して連絡	

119番要請のポイント	
火事 or 救急	
現場の住所、目標物	
男性 or 女性、年齢	
ケガ or 病気	
意識の 有り or 無し	
症状	
受傷の状況	
既往症等	
通報者氏名	
通報者連絡先	

対応事例	
意識、呼吸、脈、体温等の確認	
救急隊の要請、所属内通報等	
止血、心肺蘇生、冷却等の措置	
AED、担架、毛布等の準備	
時系列の記録	
救急車の誘導	
搬送先への同行	
被救護者の保険証、着替え等の携行	

学年	クラス	性別	氏名等	生年月日	血液型	身長/体重	既往症	本人携帯	保護者	自宅住所	
1	1年	A組	男	〇〇 〇〇	H12.11.13	Rh- A	186/100	不整脈	000-1111-2222	〇〇 〇〇 000-1111-2225	〇〇 〇〇
2	2年	B組	男	〇〇 〇〇	H13.11.14	Rh+ B	182/90	片頭痛	000-1111-2223	〇〇 〇〇 000-1111-2226	〇〇 〇〇
3	3年	C組	女	〇〇 〇〇	H14.11.15	Rh+ O	177/81	貧血	000-1111-2224	〇〇 〇〇 000-1111-2227	〇〇 〇〇
4	3年	C組	女	〇〇 〇〇	H14.11.16	Rh+ O	167/62	アレルギー	000-1111-2225	〇〇 〇〇 000-1111-2228	〇〇 〇〇

個人情報扱いは注意しましょう！

□ 連絡体制表～緊急時を想定して、各学校、道場等に適する連絡体制表等を作成しましょう！